

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2015～2016 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「外に発信 内に達成感 さあ行動しよう！」



◆会長 大保木 正博 ◆幹事 坂之上 健一 ◆会報委員長 谷口 欣也 ◆会報担当 新井 信秀

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1091 回	57 名	56 名	45 名	—	80.36%
前々回 1089 回	57 名	56 名	46 名	1 名	83.93%

<点 鐘>

会長 大保木 正博
我等の生業

<ロータリーソング>

<会長の時間>

会長 大保木 正博

飢えに苦しもうづくまる少女をハゲワシが狙うような構図が飢餓の深刻さを訴えます。あまりに有名となった 1994 年のピューリツァー賞を受賞した写真です。この写真を撮ったカメラマンのケ빈は夕食にステーキが用意されると「飢えに苦しむ人たちがいる。なぜ私達だけ自分勝手になれるのか」と突然怒り出すことがあったと言います。いろいろな葛藤があったようです。受賞の三か月後彼は自ら命を絶っています。



世界にはいまだにこうした死に直面している子供たちが多くいることを、知らなければいけないと言います。今の世で違法労働を強いられている子供たちも数多くいることを知りました。2014 年にノーベル平和賞を受賞したインドの人権活動家、カイラシュ・サトヤルティさんの講演が、今月 14 日に東京都内で行なわれました。地球上の四割は 18 歳未満が占めているといわれていますが、世界で 1 億 6800 万人が児童労働させられています。親が失業しているのに子供たちはフルタイムで働いているというおかしな状態があり、その結果その子供たちは学校へも通えず経済からも取り残されてしまう、こうした状態をみて、電気技師だったサトヤルティさんは自分が何とかしなければと思ったといわれます。サトヤルティさんは、児童労働への反対を訴えて世界中を練り歩くグローバルマーチを展開され、地球二周分を歩き 18 歳未満の有害な労働を禁じる国際労働機関 (ILO) の条約採択にもつなげられました。気の遠くなるような活動の成果だと思えますが、サトヤルティさんは覚悟と戦略を持って達成可能なことだとおっしゃいます。私たちロータリーもポリオ撲滅に取り組んでいますが、撲滅まであと一歩のところきています。今月のロータリーの友にも、ポリオ撲滅に取り組む八つのロータリークラブの活動が紹介されています。ここに至るまで多くのロータ

リアンが地道にそして連綿と活動を続けてきた、その成果だと思います。

サトヤルティさんは、何かを成し遂げるための三つの「D」があると仰います。

一つ目は、ドリーム(夢) 大きな夢を持ってほしい。何かを変えるのは夢から始まるのだから。

二つ目は、ディスカバリー(発見) 人間には、社会のために何かしたいという熱意があります。自分が秘めている力を発見してほしい、世界のリーダーになり、様々な問題を解決してくださいと仰います。

最後三つ目は、DO (行動) 行動すること もっと公平で正義ある世界にしていきたいと思いますと仰います。

先の地区増強セミナーでお聞きした第 2710 地区パストガバナーであられます西村栄時様のお話に通ずるお話です。ロータリーのポリオ撲滅活動もあと一歩のところですが、後一歩ゆえに気を抜かずに変わらぬ地道な活動が肝要だと感じました。

※ 今月の「ロータリーの友」の縦組みページのロータリー俳壇に清水幸平さんの俳句がのっています。ご覧ください。

<幹事報告>

幹事 坂之上 健一

◎R I 本部より

・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・6 月ロータリーレートについて 1\$ = 110 円

・台湾地震災害義捐金送付の報告

・2016-17 年度地区補助金支給額決定の通知 978.00 \$

・東京麹町ロータリークラブより「想い出草」

・財団室ニュース 6 月号

<高山市民憲章推進協議会より>

・平成 28 年度総会のご案内

日時: 5 月 30 日(月) 19:00～

場所: 高山市役所 地下市民ホール

<高山市青少年育成市民会議より>

・平成 28 年度少年の主張コンクール開催に伴い出役依頼

*熊本地震災義援金

5/2 38,091 円 と 5/16 35,680 円

合計 73,771 円振り込みました

<本日のプログラム>

出席/プログラム委員会

平林 委員長



「会員増強セミナーの報告」

田中 雅昭

5月7日岐阜グランドホテルにて2016-2017年度会員増強研修セミナーを受けてまいりました。

RI2710 地区パストガバナー西村英時様による特別講演では「真の会員増・強を！」一さらに



輝きを増すために一と題して講演を拝聴致しました。理想とする「会員増強」とは「ロータリアンは人間的にも、職業人としても素晴らしい」、「あんな人になりたい、あんな人のいる組織に入りたい」、「会員であり続けたい」と言われるようなクラブ創りをと言われました。さて当クラブはどうでしょうか。勿論、魅力ある、人格あふれる、品のある方々の集まりですから益々会員も増え、活気溢れるクラブだと自負しておりますが、みなさんどう思われますか。次年度会長として如何なる時でも、常に例会を充実させ、入って良かったと実感できる場として皆さんと共に、運営してまいりたいと思えます。あくまでも無理をせずに！さて皆さんロータリーとは何ぞや、と問われたら、何と答えられますか？

まさしくロータリーとは職業奉仕であるとも言われました。謙虚な姿勢で自己研鑽し自らの職業倫理を高め社会に貢献する人の集う団体であると。孔子に弟子が尋ねました。人生を歩むうえで一番大切なことは「恕」じょ・おもいやりです。

「己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ」自分がされたくないことを人にしてはいけないと言う、思いやりのところが大切だと説いています。また孔子は本当に思いやりをかけるかといけないのは自分自身であるとも言っています。自分で自分を見限る行為は、自分に対する思いやりとは正反対であり、自分を奮い立たせることで世間に思いやりをかける事が出来るのだと。

クラブ事例発表ではロータリーに入会して良かった事と題して松坂東ロータリークラブの早川千奈美さんの発表では、やさしい男性会員の受け入れや、会員同士の絆、人の心を動かす行動等々、入会して大変良かったと涙して喜んで見えました。

会員増強成功例として我がロータリークラブからは大保木会長が胸を張って、女性会員3名増の話がされました。企業の最大の財産は「社員」です。同じようにロータリークラブ最大の財産は「会員」なのです。例会に出席し自己の人格を高め、奉仕の理想を広めることが最も報いられることなのでしょうね。さあ次年度に向け会員維持と増強に邁進しましょう。

坂之上 健一

5月7日「岐阜グランドホテル」にて次期会員増強研修セミナーが行われました。

その中で「松坂東ロータリークラブ」女性新入会員による「ロータリークラブに入会してよかった事」と題しての話があり新入会員の方は泣きながらの発表でした。新入会員のフォローの仕方など



「松坂東ロータリークラブ」の皆さんの温かさが伝わってくる内容でした。会員増強は当然必要な事ではありますが、入会すれば終わりではなく、そこからがスタートだと感じました。入会後の新入会員のフォローを各会員がしてあげる、紹介者はもちろん、特に会長・監事・会員増強委員長が全会員を巻き込んでフォローをするくらいの気持ちで向かわないと、新入会員が孤立したり、ロータリーの事がよく解らなくつまらないものとなってしまい退会する事となってしまいます。

今回、特別講演をされた RI2710 地区パストガバナー西村栄時氏は会員増強の必要性について、それから真のロータリアンについての話をとても分かりやすく話して頂きました。

会員増強もただ会員を増やすだけでなく、現会員がロータリーの事を勉強する事で日頃の行動や言動にロータリアンとしての振る舞いが現れてくるようになると思います。それが新入会員の憧れとなるような真のロータリアンだと思います。会員を増強するという事は現ロータリアンの質の向上とロータリーに対する思いをどれだけ持っているか、又その思いをどれだけ伝える事が出来るのかが最も大切な事だと感じました。

「会員増強」とは

「増」は会員の増強。ロータリーに相応しい新しい会員を意欲的に熱意を込め勧誘し、獲得し増やす。

「強」は組織の体質を強化し、会員に魂を入れる。

講師 西村栄時氏は会員増強をこのようにたとえ講演を終えました。



<ニコニコBOX>

先日のゴルフ、良いことがありましたのでニコニコへ。
内田 茂

完成見学会をさせて頂きました。思ったよりご来場頂きましたのでニコニコへ。
植木 眞吾